

NEWS RELEASE



関係各位

日本ハンドボールリーグ機構

JHL-RL-20030

2020年10月30日

日本ハンドボールリーグ 上期（4月-9月）の振り返り

昨シーズンの最終週とプレーオフは「COVID-19」により中止の決断となり、その後もハンドボール界のみならず全てのスポーツにおいて競技をする機会、観る機会、楽しむ機会を奪っていました。

8月29日に開幕した第45回日本ハンドボールリーグでは、このコロナ禍において「感染拡大防止対策」に取り組むのはもちろんのこと、そういった状況下において新しいスポーツ観戦様式や在り方、スポーツ映像配信を模索してまいりました。

今までの常識で、疑いもなく昨年同様取り組んできたことを根本から考える機会を、新たなステップへの第一歩としてとらえ、半年が経ったこのタイミングで今一度その取り組みを振り返るとともに、下期または次年度以降の取り組み課題を皆様と共有し、日本ハンドボールリーグが更なる高みに向けて進むために「2020-2021シーズン ハーフレポート（4-9月）」としてまとめ、報告させていただきます。

[内容]

- (1) 2020-2021シーズン 第45回日本ハンドボールリーグ概要
- (2) コロナ禍でのリーグ戦開幕
- (3) COVID-19 感染拡大防止対策
- (4) JHLtvのリニューアル
- (5) 日本ハンドボールリーグ法人化の動きについて



2020-2021 シーズン ハーフレポート（4-9月）

(1) 2020-2021 シーズン 第45回日本ハンドボールリーグ概要

① ジークスター東京の参戦（東京都からは2003年シーズン以来の参戦）

2019-2020シーズンはチャレンジ・ディビジョンに所属し、準優勝の成績を納めました。第45回日本ハンドボール新シーズンが始まるタイミングで日本代表3選手の新加入を発表し、2003年シーズンを最後に不在であった東京都に本拠地をおくトップチームとして、2020-2021シーズンからJHLに参戦し第8週終了時点では11チーム中10位と奮闘しています。

② JHLアンバサダーの紹介と今後の活動

日本ハンドボールリーグ機構は、広報活動の強化とハンドボールをより多くの方に知っていただくため、松中信彦氏と宮崎大輔選手に、JHLアンバサダーに就任いただきました。松中信彦氏には、JHLtvでの解説の他、ご自身の活動を通じて日本ハンドボールリーグのPRや普及を推進。宮崎大輔選手には、現役選手としてJHLがより良い方向に向かうための提言の他、ファンやサポーターの皆様にハンドボールの面白さを伝えていただく活動や発信を期待しております。



<プロフィール>

松中 信彦（まつなか のぶひこ）

生年月日：1973年12月26日（46歳）

元プロ野球選手

現役時代は平成唯一の三冠王（史上7人目）を達成。

四国独立リーグ「香川オリーブガイナーズ」GM兼総監督（2020年～）

小学生・中学生ハンドボールチーム「KINGS」代表として活躍

<プロフィール>

宮崎 大輔（みやざき だいすけ）

生年月日：1981年6月6日（39歳）

JHL 大崎電気 2003-2009、2010-2019

日本ハンドボールリーグフィールドゴール歴代1位獲得！

スペイン1部リーグ アルコベンダス 日本人男子初の移籍 2009-2010

2019 日本体育大学に再入学

所属：日本体育大学



(2) コロナ禍でのリーグ戦開幕

① 開幕に向けての準備

日本ハンドボールリーグは、屋内競技で屋外競技に比べて三密が発生しやすいこと、感染経路不明や無



症状感染が発生している状況などを勘案し、あらゆる側面から今シーズンの開幕可否について検証いたしました。そして、5月に入り開幕に向けてのガイドラインや感染予防対策等の策定に着手し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策「JHL プロトコル」を策定し、それに基づく開催運営をおこなうことを決定いたしました。

事業実施に際し日本ハンドボールリーグ機構として、「安全確保・事業の継続・ハンドボールの豊かさの提供・代表強化と競技水準の向上」の4つを基本的な考え方で定め、あらゆる状況に対してこの基本的な考えを念頭に判断を進めました。

また、開幕前に、全選手・チーム役員のPCR検査を実施し全511件の陰性を確認、各開催地において新型コロナウイルス感染対策を実施し、8月29日に第45回日本ハンドボールリーグレギュラーシーズンを開幕させることができました。

② ONE TAP SPORTS の導入と現状

企業・チームに所属する選手で、通常業務に従事している選手やチームスタッフは、今シーズンのリーグ戦を全力で戦うために日々、不要不急の外出の自粛などを徹底し、コンディション管理に努めています。

このコンディション管理は株式会社ユーフォリア（代表取締役 橋口寛氏、宮田誠氏、以下「ユーフォリア」という）からご提供いただき「ONE TAP SPORTS」で実施しており、開幕してから2ヶ月が経過するものの、体調不良報告は2件のみで、JHLプロトコルに照らし合せ情報開示する事象はまだ確認されておりません。「ONE TAP SPORTS」導入をはじめとする、チーム内での徹底した体調管理や感染防止対策の結果であると考えます。

日本ハンドボールリーグでは、コロナ禍をきっかけに「ONE TAP SPORTS」の導入を決定いたしましたが、ハンドボールのトップリーグとして、そして未来のハンドボール選手たちにコンディション管理の指標になるよう、私たちの責務として今後も継続して、「ONE TAP SPORTS」を開発・提供するユーフォリアと協働でパフォーマンス向上の研究に取り組んで参ります。



③ COVID-19 感染拡大防止対策

- JHLプロトコル（JHL新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン）の策定

今シーズンの開幕に向けて、「新型コロナウイルス感染拡大防止」に対する国・各都道府県及び自治体の方針や対応に基づき事業計画について適切に検討・決定を実施することを目的に、「JHLプロトコル」を策定しました。その中で、次に示す4つの基本的な考え方は、日本ハンドボールリーグ機構が意思決定を行う上で基軸にしているものになります。

[安全確保]

加盟チーム（監督・選手・スタッフ・関係者）・開催地役員及び運営スタッフ、来場者およびファンの皆様の「安全・安心」を最優先とする。

[事業の継続]



加盟チームの活動支援に取り組み、リーグの維持に努める。

[ハンドボールによる豊かさの提供]

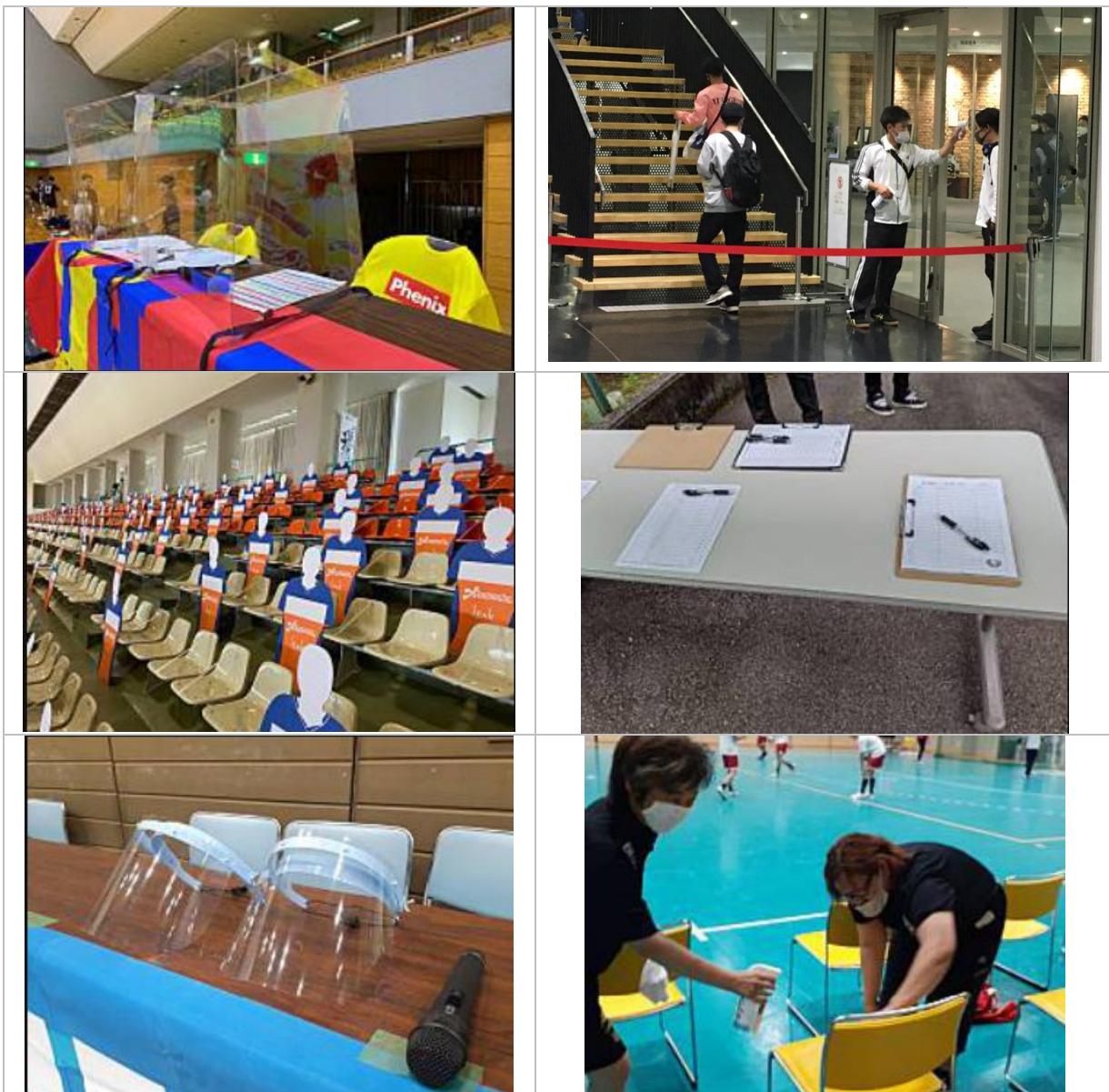
国内・外の大会開催が中止・延期が決定される中、ファンにハンドボール観戦を楽しんでもらうため最大限努める。

[代表強化と競技水準の向上]

1年延期された「2020 東京オリンピック・パラリンピック」に向けて代表チームの強化に継続して貢献する。

● 試合開催における感染拡大防止対策事例（開催地での事例）





(3) JHLtvのリニューアル

① リニューアルポイントとハンドボールの魅力

昨年度の2019-2020シーズンまでのJHLtv（ジェイ・エイチ・エル ティービー）は、俯瞰カメラ1台とスコアボードを移すカメラ1台の計2台で運営を行っておりました。

今年度の2020-2021シーズンからは、動画時代！（株式会社東京トレード：代表取締役 石井琢也）に制作を委託し、各ゴール裏に1台、スタンド席には4台と計6台のカメラにより今「JHLtv」は運営されています。スタンド席には実況解説席、ライブ配信オペレーション席も設置し、コロナ禍で会場にいくことができない皆様にもハンドボールの魅力を伝えられるように配信しております。

[JHLtvはこちらのURL (<https://jhltv.com/>) から視聴ができます。]



< J H L t v 配信席の様子 >



② 視聴回数とニーズ

今季の J H L t v は、YouTube から配信されております。視聴回数は以下の通りとなり、昨年の第 44 回大会より、かなり多くの視聴を頂いております。今後は、7 チャンネルに分割されているチャンネルを 1 つに統合し、より多くの皆さんのチャンネル登録いただけるようなプロモーション活動を取り組んで参ります。

《男子》 第 44 回大会 平均視聴回数 : **1,857 回**

第 45 回大会 平均視聴回数 : **10,400 回**

第 44 回大会 視聴回数上位 3 試合

試合開催日	対戦カード	視聴回数
2019/9/16	大崎電気 - 東日本	4,095
2019/9/21	大崎電気 - 大同特殊鋼	3,703
2019/9/21	トヨタ車体 - 豊田合成	3,469

(回)

第 45 回大会 視聴回数上位 3 試合

試合開催日	対戦カード	視聴回数
2020/8/29	トヨタ車体 - ジークスター	24,724
2020/8/30	大崎電気 - 湧永製薬	20,791
2020/9/13	ジークスター - 大同特殊鋼	19,940

※10 月 14 日までのデータに基づく (回)

《女子》 第 44 回大会 平均視聴回数 : **1,715 回**

第 45 回大会 平均視聴回数 : **5,561 回**

第 44 回大会 視聴回数上位 3 試合

試合開催日	対戦カード	視聴回数
2020/2/11	北國銀行 - 三重	4,300
2020/1/5	ソニー - 三重	2,724
2020/2/16	三重 - オムロン	2,564

(回)

第 45 回大会 視聴回数上位 3 試合

試合開催日	対戦カード	視聴回数
2020/8/29	北國銀行 - ソニー	10,289
2020/9/12	オムロン - イズミ	8,191
2020/9/5	アランマーレ - オムロン	7,233

※10 月 14 日までのデータに基づく (回)

(4) 日本ハンドボールリーグ法人化の動きについて

現在、日本ハンドボールリーグ機構は、公益財団法人日本ハンドボール協会（以下、J H A）の中で、独自に事務局機能を持ち、「日本ハンドボールリーグ」を運営しております。

2021 年 4 月以降は、一般社団法人日本ハンドボールリーグとして J H A から独立し運営をおこなっていくことが決定しております。今までにない発想で、今までにないハンドボールコンテンツの創出に向けて将来構想に基づき経営していくべく準備を進めてまいります。